



フローラキャンドル誕生のストーリー



いつもLINEを見てくださってありがとうございます。

今日は、このフローラキャンドルがどのようにして生まれたのか、その舞台裏について少しだけお話しさせてくださいね。

◇お花の先生としての「もったいない」を かけがえのない「価値」に変えたい

かつてハーバリウムが大流行した際、多くのお花の先生が直面した悩みがありました。それは「確保しすぎてしまった大量の花の資材」そして「制作過程でどうしても残ってしまう端材」です。

私自身も、レッスンのたびに中途半端に残るお花たちに、ずっと心を痛めていました。たとえ花びら一枚であっても、そこには女神が宿るような気品ある美しさが宿っています。

「まだ美しいのに、半端だから使えない……」
「このお花たちを、生徒様から喜ばれる
新しい価値に変えられないだろうか？」

そんな切実な思いから、このカリキュラムの構想が始まりました。

◇2つのプロの視点から生まれた 「飾る為のキャンドル」

大切にしたのは、私が持つ【フラワーデザイナー】と【インテリアコーディネーター】という2つのプロとしての視点です。

フラワーデザイナーとして

- 花びら1枚まで無銭せずお花大切に使いお花の美しさを活かせるサインであること

インテリアインテリアコーディネーターとして

- 灯さない時も「上質なインテリア」として空間に溶け込み、お部屋を格上げする存在であること。
- 「火を灯す」ことだけを目的とせず、フラワーフラワーアレンジの感覚で花と香りを楽しめること

フラワーデザイナーとインテリアコーディネーターの両方の目線があったからこそ**花と香りと光をテーマにした「空間を彩るキャンドル」**が完成したのです。

そして【花の女神】を意味する『**フローラキャンドル®**』と名づけました。

◇「面倒」を「楽しい」 に変えるカリキュラム

本来、キャンドル作りは工程が複雑で、準備も片付けも大変なイメージがありますよね。

でもフローラキャンドルは、お花の先生がいつものレッスンの延長で導入できるよう、カリキュラムを工夫しました。

- お花の資材を無駄にせず、相乗効果でレッスンの幅が広がる。
- 初心者の方でも失敗なく美しく仕上がる。

お花のプロが、お花を愛する方のために考えたフラワーアレンジ感覚で楽しめるキャンドル。それが、この「フローラキャンドル

クラフト認定講座」なのです。

明日のLINE配信も
楽しみにしてくださいね♡

